

在チェンナイ日本国総領事館 海外安全対策情報

令和5年度第4四半期（令和6年1月～令和6年3月）

1 治安情勢

(1) 概要

館内の治安はおおむね安定していますが、窃盗等の犯罪は多発しており、特に低所得者居住地区周辺などでは殺人、強盗、性犯罪、違法薬物売買が日常的に発生しておりますので、それらの地区には近づかないで下さい。

(2) 注意点

- ア スマートフォンやバッグ、ネックレス等のひったくりが多発しており、警察が注意を呼びかけています。いわゆる「歩きスマホ」は犯罪に巻き込まれるリスクが高くなりますので控えて下さい。
- イ インドの総選挙実施に伴い、選挙運動・デモが活発化しています。路上等で多人数が集合している場合、暴動に発展するおそれもありますので、速やかにその場から離れて下さい。

2 邦人の犯罪被害発生状況

(1) 窃盗（すり）

チェンナイ中央駅前の混雑した歩道を歩行中、ズボンのポケットに入れていたスマートフォンを盗まれたもの。

(2) 性犯罪

チェンナイ市内の歩道を歩行中の女性が反対方面から歩いてきた現地人の男に胸を触られたもの。

3 邦人の交通事故被害発生状況

(1) 期間中、当該情報には接していません。

(2) インドの一般的な交通環境

インドの車両保有台数は全世界の1%にもかかわらず、交通事故は10%を占めている旨報道されています。実際、国民の交通安全意識は極めて低く、飲酒運転、逆走、信号無視、バイクの歩道通行、携帯電話使用運転などの交通違反、無理な追い越し、割り込みが常態化しているなど交通環境は劣悪ですので、当地では自ら運転することは可能な限り避けて下さい。また、徒歩で外出する際は常に周囲の状況を慎重に確認し、事故に巻き込まれないよう十分注意して下さい。

4 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 爆弾テロ事件の発生

期間中、当該情報には接していません。

(2) ラマダン期間における注意喚起

3月11日(月)から4月12日(金)頃までイスラム教の断食月ラマダンとなっています。例年、ラマダン期間中及びラマダン終了後1週間程度はテロの脅威が高まる傾向がありますので、宗教施設や人が集まる場所には可能な限り近づかないなど、安全確保に留意してください。

5 外国人に対する誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、当該情報には接していません。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

(1) 期間中、当該情報には接していません。

(2) インド国内においては、日系企業を含め外国企業に対し、労働団体による待遇改善や賃上げ等を求めるストライキや暴動が度々発生しています。

7 公共交通機関の状況

インドの長距離列車や駅においては、殺人、性犯罪、窃盗等の犯罪のみならず、テロや衝突・脱線事故が多発しており、決して安全とは言えないのが状況です。実際、昨年中も当館管内で列車内放火テロ事件や車両同士の衝突事故、列車内火災事件が発生して多数の死傷者が出ました。また、オディシヤ州(コルカタ総領事館管内)において、チェンナイ市に向かっていた長距離列車が停止中の列車に衝突するなどして乗員乗客約300人が死亡する大事故が発生しました。このような理由から、可能な限り長距離列車の利用は避けていただくことをおすすめいたします。

8 密輸

インド税関によりますと、10,000米ドル相当を超える外貨を持ち込む場合は税関申告が必要であるほか、金銀の輸入は少量であっても持ち込みが禁止されています。

法令違反があった場合、金品の没収、身柄拘束(逮捕)高額な罰金や関税を科される場合があります。法律を知らなかったなどの言い訳は一切通用しませんので、免税範囲を超える金品を持ち込む場合には必ず税関申告を行ってください。

9 大規模災害

期間中、当該情報には接していません。

10 旅券の保管・管理について

旅券の紛失・再発給件数が増加しています。旅券は海外で身分を証明する唯一の公文書であり、再発給の手続きには戸籍謄本（原本）が必要になるなど相当な時間と労力が必要となりますので、旅券の保管・管理は厳重に行ってください。

また、旅券に飲食物等をこぼして汚損したり、お子様が旅券に落書きしたり破いたりした場合等は出入国を拒否される可能性がありますので、旅券の保管・管理には十分ご注意ください。

11 海外旅行保険の重要性について

インドでは外国人が病気やけがで入院した場合、病院に対して速やかな費用支払いを確約できることが必要であり、支払い能力がない場合は入院・治療を拒否されます。また、医療レベルが高い病院での手術・入院治療は相当に高額です。インド国内においても、2週間の入院費用だけで400万円超となった事例もあります。

そのため、インド渡航・滞在に当たっては入院・治療費、さらには緊急移送までカバーされる海外旅行保険への加入を強くおすすめいたします。

なお、クレジットカード付帯の海外旅行保険は、利用条件や制約により適用されない場合もありますので、旅行前に条件をよく確認して下さい。

12 感染症の流行について

報道によりますと、ケララ州において、水痘（水ぼうそう）、おたふく風邪（ムンプス）、A型肝炎の感染者が増加しています。

それぞれの感染源及び感染防止策を医師に確認した結果、以下のように回答がありましたので、感染防止の参考としてください。

(1) 水痘（水ぼうそう）

感染源：感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染（飛沫・空気感染）、水疱や粘膜の排出物に接触することによる感染（接触感染）

感染防止策：ワクチン接種、人混みや具合の悪い人との接触を避ける

(2) おたふく風邪（ムンプス）

感染源：感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染、（飛沫感染）、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）

感染防止策：ワクチン接種、人混みや具合の悪い人との接触を避ける

(3) A型肝炎

感染源：汚染された水源、食品の安全でない取り扱い、食品取扱者の不十分な手指衛生などが原因（経口感染）
感染防止策：ワクチン接種、不衛生な店での飲食は避ける